

# 13-14 伝統家具（シェーカー家具）の試作・研究

## (1) ツールとサイドテーブル

上原守峰

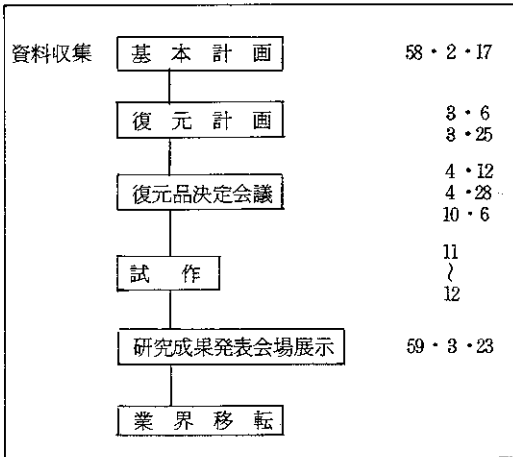
### 1. はじめに

本県には家具の伝統的様式というものはなく、伝統家具に接する機会も少ない。家具開発していくために歴史的遺産であるこれら伝統家具における構造や材料の使い方、スタイル等をマスターしていくことは必要不可欠な要素ではないだろうか。

今回、シェーカー家具を復元する機会を得たので5カ年計画で試作研究し、業界移転していく予定である。

### 2. 概要

#### (1) 復元のフローチャート



#### (2) 協力者と企業

- ・藤上知弘（ラ・サール学園修道士）…復元情報の提供
- ・北野口クロエ芸…換物加工
- ・大平芸社…流通情報の提供

#### (3) シェーカー教徒の略歴と現在

1774年にアン・リーに率いられた小数のシェーカー教徒が、イギリスからアメリカ東海岸に移住した。彼らは独特の戒律のもとに厳格で質素な生活態度で、世間から分離してコミュニティを形成した。最盛期には19カ所5200人もの教徒が生活する中でシェーカースタイルともいうべき、装飾を排した簡素で機能的なデザインの日用品や建築が生みだされた。2世紀後の現在わずか2カ所に10人前後の教徒を残しているのみで、このコミュニティは幕をとじようとしている。

#### (4) シェーカー教徒の格言と戒律

#### ・機能主義

すべての力は形態を生む。それがデザインされた目的に完成に応えるものはすべて、正しく完全なものと呼ぶことができる。一つの円は、それが完全に丸い時、完全な円と呼ぶことができる。一個のリングは、それが完全に無傷で内部に欠陥のない時、完全だということができる。他の多くのものについても同じである。我々は、いろいろと試み、最良のものを見つける。そして良いものを見つけた時、それをあくまで守りとおす。モノサシは訓練と完全の象徴であって、それなしではものは作れない。

#### ・美

規律正しいことは美しい。調和の中には大きな美がある。秩序は美の創造物である。美を愛することは徳の力と共に活動の分野を広げる。美は有用性に宿る。使用することを基本としていない美はすべて、やがて不愉快なものとなり、いつも新しいものと取り替える必要がある。それ自体高い利用度を持つものは、大きな美を有している。

#### ・誠実な良い仕事

教会の下で自らのために行なうすべての仕事または作るすべてのものは、充分、誠実になされ、しかもぜひたくでなく簡素なものでなくてはならない。すべてのものはその秩序と用途に従って、慎しみをもち整然としていなければならない。販売用に作るすべてのものは完全に作られ、その用途に適していなければならない。

#### ・不必要物

何であろうと作るものは、すべて簡素で単純なものにしないさい。そしてそれはやがてあなたの使命となり職業となる完全で本質的な質を持っていなければならない。良さや耐久性に何の役にもたない余分なもので粉飾されてはならない。

#### (5) 復元の目的

・幕をとじようとしているシェーカー家具を復元し、形寸法、色、表面処理、材料、構造などを研究して本県でアメリカの伝統を引き継ぎ製造販売する。

・彼らの手法をマスターし、現代家具工芸品に応用する。

・モノづくりの思想を学ぶ

#### (6) 復元時の注意事項

アメリカでは復元されたものが骨董市場に出回ることがあり、不当な販売がなされている。日本では、作る人も少

なくそのような例はないが、必ず裏に年代とメーカー名を入れること。

(7) 復元する家具のコミュニティと年代

・ニューレバノン

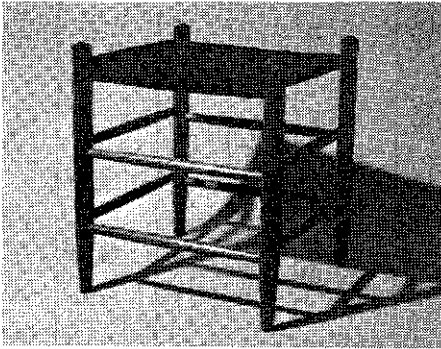
シェーカー家具といっても長期間にわたり各地のコミュニティで作られた形は、材料が異なったりプロポーションも美しいものから素朴なものまでさまざまである。形の点では、家具づくりの中心がニューレバノンでありこ

こから他の地域に技術が波及していったことや美しく機能的であることも考慮すると復元するにはこの地域が妥当である。

・1830年代

家具の様式的完成は1830年頃であり、それ以前では伝統的スタイルを引きずっており、又1800年代後半以降では教義に反して装飾を加えた無残なものがつくられている。

(8) 試作のスツールとサイドテーブル



(スツール)

材料：タブ

座：アクリルと綿のテープ

座模様：市松文様

塗装：オイルフィニッシュ（チークオイル3回塗り）

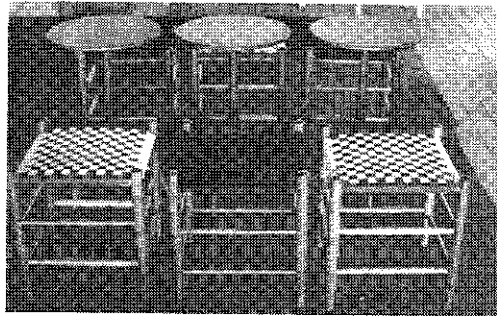
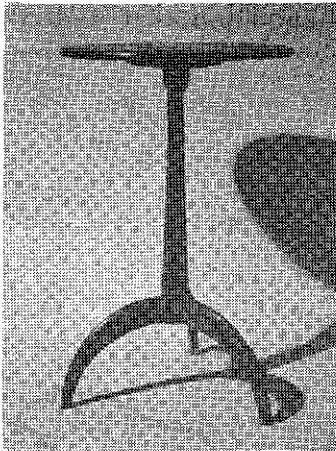
寸法：450×450×450 mm

(サイドテーブル)

材料：タブ

塗装：オイルフィニッシュ（チークオイル3回塗り）

寸法：460φ×620 mm



3. まとめ

図面で、強度上不安な部分や量産する場合にネックとなる箇所は、協議して手直した。赤と黒、青とベージュのテープのコントラスト、座の張り方と加減、塗装など満足のいく回答が得られたので、他品種の家具も復元していき業界移転していく予定である。

— 年度別試作・研究計画

58年度 スツール・サイドテーブル

59 〃 チェア・ダイニングテーブル・ベンチ

60年度 ハイバックチェア・小物工芸品

61 〃 ロッキングチェア

62 〃 箱物

なお、伝統家具の試作研究は、シェーカーに限らずアール・ヌーボー、アール・デコ、ウィンザー、季朝家具なども資料を揃え今後取り上げていこうと考えている。

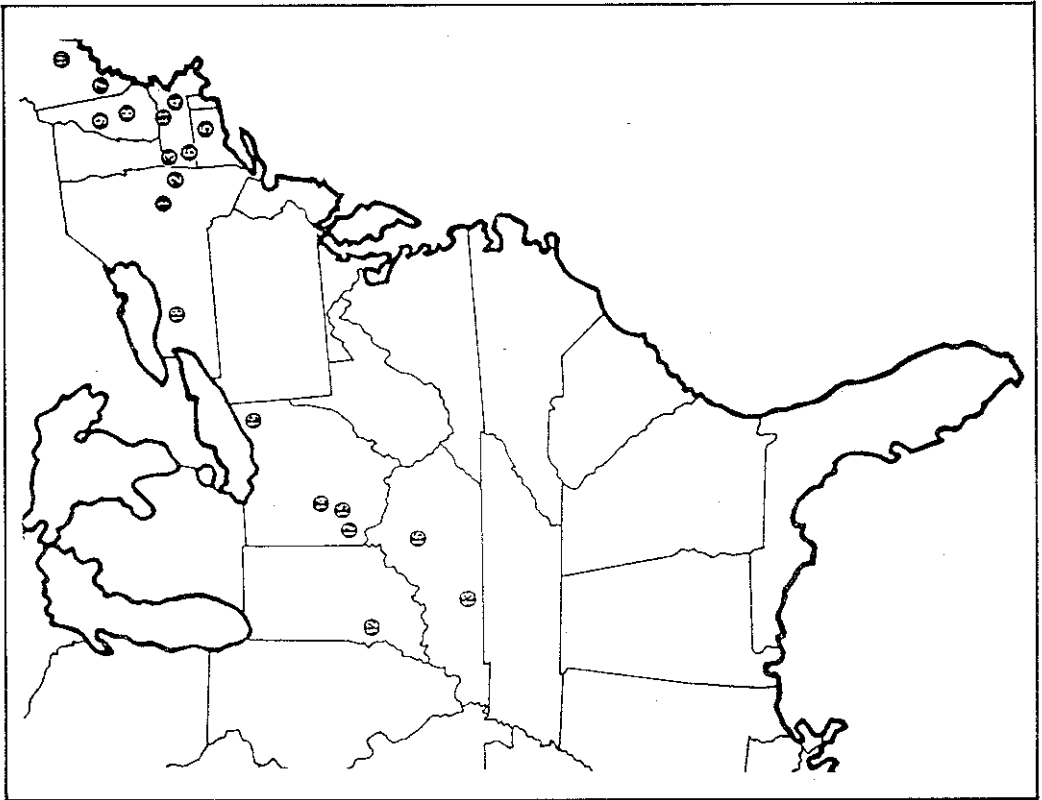
※参考資料 「THE BOOK OF SHAKER FURNITURE」 JOHN KASSAY.

表1 シェーカー・エミューニティの概要

場	所	起年	最高 ファミリー数	最盛時教徒数	終年
ニューヨーク州					
ウォータヴァリート	①(ニスキューナ)	1787	4	350	1988
マウントレバノン	②(ニューレバノン)	1788	8	600	1947
グロープランド	③	1826	2	200	1892
マサチューセッツ州					
ハンコック	④	1790	3	300	1960
ハーバード	⑤	1791	4	200	1918
チリングガム	⑥	1792	3	100	1875
シャリー	⑦	1793	3	150	1908
コネチカット州					
エンフィールド	⑧	1793	5	200	1918
ニューハンプシャー州					
カントベリー	⑨	1793	3	300	現存
エンフィールド	⑩	1792	3	350	1923
メイン州					
アルフレッド	⑪	1793	3	200	1932
ニューグロスター	⑫(サバスデレイク)	1793	3	150	現存
オハイオ州					
ユニオンヴィレッジ	⑬(タートルクリク)	1812	6	600	1910
ノースユニオン	⑭(シェーカーハイツ)	1826	3	200	1889
ホワイトウォーター	⑮	1824	3	150	1907
ウォータヴァリート	⑯(ピュラ)	1813	2	100	1910
インディアナ州					
ウエストユニオン	⑰(バスロー)	1810	2	200	1827
ケンタッキー州					
サウスユニオン	⑱	1811	4	350	1922
プレザントヒル	⑲	1814	3	500	1910

白抜き数字は成立順序を示し、左図と対応する。

図1 シェーカー・コミュニティの分布



※ 「スペースデザイン」鹿島出版会より抜粋